

これがオススメ! 読み聞かせ本

高学年向き

学習指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさんの本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

この本は6年生になってからと考えていましたが、5年生の2学期から取り上げました。すくすく真剣に聞き入っていました。(登場人物を順次大きな紙に書いて掲示しておきました。)

読む時間は3校時か5校時の始め(この時間が一番読み聞かせには集中できる)。3ヶ月間読み続けました。

女の子同士、心のせめぎ合いがよくありました。何か言われると顔色が変わったり。そんな時は「女の子の会」等で話し合いをしました。この物語の登場人物の言動からも学んでいったことは多かったのではないかと思います。

卒業時の「きむ先生の読み語りベスト3」にも選ばれました。

「先生たちに見捨てられるよう

なクラスが徐々に落ちていくところが好き」

「12歳の一人ひとりの心をとらえて本当の人物みたいに書けていて、後藤竜二さんはすくすく作家だと思った」

「私は登場人物の中で川口美希さんが一番好きです。4年生の頃私のクラスもパニック学級でした。多かったのはケンカ。机が投げられたり悪口があちこちで叫ばれたりしました」

子どもたちは登場人物を自分と重ね合わせて聞いていることがよくわかると思います。4年生時の学級崩壊の中心人物のひとつりだった子の感想には、「これはもう一度きむ先生に読んでもらいたい」

と書いてありました。5年生でこの本に出会えてよかったと思います。



「12歳たちの伝説」①～⑤

後藤竜二／作・鈴木びんこ／絵
(新日本出版社)